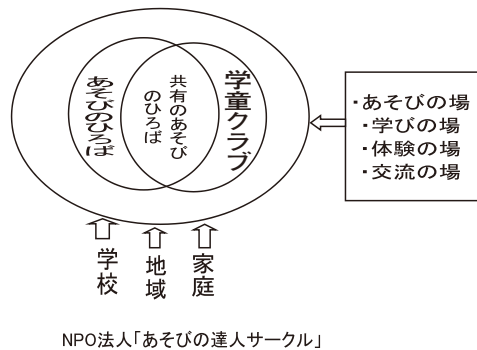


支援者や地域の見守りの中「あそびのひろば」で楽しく明るく元気に遊ぼう！

福岡県苅田町	● 活動名	● 関係する学校名
	馬場小学校区あそびの広場	苅田町立馬場小学校

開始年度	平成 23 年度	学級数	15 学級	生徒数	342 人
放課後児童クラブとの連携					
一体型	● 連携型	(連携状況) ■毎回 □定期的に □イベントがある時 □活動場所を共有 (共有の活動場所) 体育館、グラウンド、会議室	連携なし	子供の参加人数	平均人数 48 人
統一的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	実施場所	施設名：苅田町立馬場小学校 実施場所：体育館、グラウンド、会議室
ボランティアの数	登録人数 12 人	属性	地域住民	学習活動の有無	無
参考 URL					

● 体制図



● 連絡先 苅田町役場子育て・健康課 ☎ 093-588-1036

- 活動の概要・経緯
- ・学校行事で体育館を使用しない限り、平日の放課後(15時~17時)に「楽しく明るく元気に遊ぼう」を目標に「あそびのひろば」を開設。
- ・学校及び学童クラブとの連携を図るため、月1回以上、スタッフ会議を開催。利用可能施設の確認のほか、運営方法やプログラム内容、課題の解決方法等の意見交換を実施。
- ・月1回(土曜日)に「チャレンジタイム」として、ミニ運動会、バルンアート、卓球体験、芋づくりなどの農園体験を実施。
- ・平日の「あそびのひろば」として、①体育館において室内球技道具などでの遊び、②グラウンドにおいてソフトボール・サッカー・砂遊び、③会議室において将棋・スゴロク・読書・宿題、などの活動を実施。
- ・「あそびのひろば」では、学童クラブに通う児童と一緒に活動する時間があるため、子供たちの良い交流ができています。

放課後子供教室

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- ・「チャレンジタイム」では、学童クラブに通う子供たちと一緒にできる活動を実施。
例：ミニコンサート(中学生の演奏)、農園体験(芋、とうもろこし)、クリスマス会、ミニ運動会など
- ・夏休み等の長期休暇や「チャレンジタイム」では、地域の方々の誘いを受け、生き物調査、川の清掃、公園の植樹の手伝い等、遊びとして体験活動を実施。
- ・「遊び」を通じて「学ぶ」ことによって、子供たちの育成に繋がるよう支援している。

【実施にあたっての工夫】

①スポーツで体力づくりをしよう、②あいさつをしましよ、③美しい字を書きましようの3つの目標を子供と大人が共有している。「あそびのひろば」は学童クラブとは子供たちの対応に関する考え方や活動内容が違うため、一体化する前は不安があった。しかし、「同じ学校の子供たち」というキーワードに支援者が同意。「あそびのひろば」と学童クラブで子供たちは別々に遊んでいたが、一体化を進めることによって子供たちのわだかまりが自然になくなり、仲良く遊ぶようになった。「一体化」1年目の平成27年度は、子供たちの様子の見守りに徹したことで、子供たちは同じクラスの友達を見つけて、一緒に遊ぶようになった。また、学童クラブを含め、異学年で遊ぶようになり、子供たちにとってお互いに良い交流の場となっている。スタッフ会議に学童クラブのスタッフを含む支援者が参加することによってそれぞれの分野の理解度が高まり、「チャレンジタイム」のイベントを手伝うことにも繋がっている。

● 事業を実施しての効果・成果

子供たちは「同じクラス」がキーワードとなり、共に遊ぶようになった。また、異年齢で遊ぶ「時間・空間・仲間」の3つの間ができた。円滑な一体化に向け、まずは「あそびのひろば」と学童クラブの支援者同士の理解を高めるため「あそびのひろばと学童クラブは同じ学校の児童！」をキーワードとして活動。「学年や学童クラブ等はピンスで色分け、名札を付けているから、参加している子供たちを覚えることができた」と支援者の声があった。この取組は、スタッフ会議の提案により取り入れた。また、学童クラブを運営するNPO法人と学校が連携していたため、一体化することで「あそびのひろば」と学校との報・連・相の関係が進んだ。

● その他

NPO法人「あそびの達人サークル」が、学童クラブ及び放課後子供教室の運営に携わっている。



【農業体験】5月に芋のつるを植える様子。



【ミニコンサート】夏休みに中学生による演奏を聞き、実際に楽器を使って演奏する様子。

ポイント

学童クラブと放課後子供教室の連携や一体化を進めていく上で参考になる取組です。子供たちが多くの仲間と過ごせる環境を作っていく過程が素晴らしいです。今後も地域のモデルとして発展させてほしいと思います。